

頑張れ高山市初の五輪選手

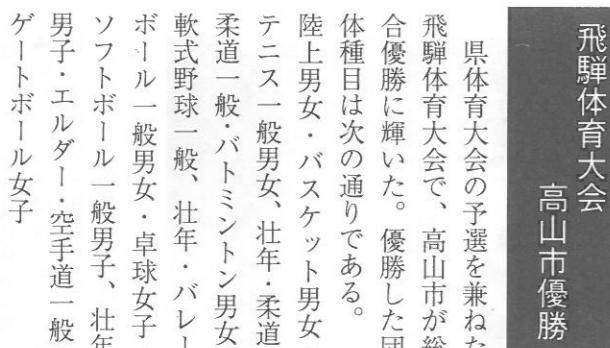
柔道 山下まゆみさん

——————————*—————*—————*—————*

待望のシドニーオリンピックに、高山市から初のオリンピック選手として柔道の山下まゆみ選手が女子78キロ超級に出場します。

山下選手は、小学四年生より市柔道少年団に入つて育つた純粋の地元選手で、市スポーツ界の誇りでもあります。

ご健闘を祈ります。



飛騨体育大会
高山市優勝

体協事務局の新しい機構・スタッフでのスタート

飛騨ビッグアリーナの完成に伴い、その管理運営を委託された体協会事務局も職員を増員し、新しい機構での体協運営業務とビッグアリーナの利用促進及び管理体制の充実が図られた。新しい体協事務局スタッフは、次の皆さんです。

- 事務局長、副事務管理者
- 施設管理者、事務局次長
- 業務運営係長
- 業務担当主任、補佐
- 伴場計彦
- 間 武夫
- 溝尻淳子
- 荒谷 登
- 細井美穂
- 丸野雅代
- 田近梨花
- 峰 潤
- 小竹正弘

斎藤義弘

——————————*—————*—————*—————*

待望のシドニーオリンピックに、高山市から初のオリンピック選手として柔道の山下まゆみ選手が女子78キロ超級に出場します。

山下選手は、小学四年生より市柔道少年団に入つて育つた純粋の地元選手で、市スポーツ界の誇りでもあります。

ご健闘を祈ります。



飛騨ビッグアリーナの完成に伴い、その管理運営を委託された体協会事務局も職員を増員し、新しい機構での体協運営業務とビッグアリーナの利用促進及び管理体制の充実が図られた。新しい体協事務局スタッフは、次の皆さんです。

事務局長、副事務管理者

施設管理者、事務局次長

業務運営係長

業務担当主任、補佐

伴場計彦

間 武夫

溝尻淳子

荒谷 登

細井美穂

丸野雅代

田近梨花

峰 潤

小竹正弘

斎藤義弘

この人にこんにちわ

今回は、今夏のインターハイ個人の部で見事準優勝に輝き、開催地の私たちを喜ばせてくれた高山西高校のアーチェリー部谷口将之選手を、西高校アーチェリー場に訪ねました。

- 準優勝を得たときの感想は。
- アーチェリーは何時から始めたの。
- 小中時代の運動は。
- スポーツで一番嬉しかった経験は。
- アーチェリーの魅力や良さは。
- 今後の抱負は。

[筆者の所感] さすが全国2位に輝いた選手だけに、身長も大きく均整のとれた体格である。顔も勇者らしい精悍な表情で、競技者のみならず、人間的な頼もしさを感じさせる。

- ・“ヤッター”という気持ちと、アーチェリーをやって良かったと思った。
- ・高山西高校に入学してからです。先輩の練習を見て、何か引きつけられるのを感じた。
- ・小学校では何もしていません。中学校ではバスケットボールをやっていました。
- ・今度のインターハイ準優勝です。これは、指導頂いた先生、支援してくれた親たちのおかげです。
- ・自分も相手方も同次元の動きの中で競うのでなく、自分で集中してプレイできることです。
- ・大学に進学し、アーチェリーを続けたい。

十二年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が去る八月一日より県下各地で開催された。

高山西では、バスケットボール・アーチェリーの両競技が行われたが、万全の準備と天候に恵まれ成功裡に終えることができた。

今年高校総体に出場した市内高校のチーム、個人選手及び成績は次の通りである。

・バスケットボール男子	・斐太高 三回戦まで進出
斐太高 二回戦まで進出	（ベスト十六）
・同女子	・アーチェリー
・バスケットボール女子	男子団体戦一回戦敗退
・新体操 高山高校	女子団体戦一回戦敗退
・弓道個人 三ヶ畠千絵（斐太高）	男子個人戦 準優勝 谷口将之（高山西）
・ハンドボール女子	（ベスト十六）
・高山高校 二回戦進出	男子団体戦一回戦敗退
・弓道個人 三ヶ畠千絵（斐太高）	女子団体戦一回戦敗退
・ハンドボール女子	男子個人戦 準優勝 谷口将之（高山西）
・新体操 高山高校女子	（ベスト十六）
・弓道個人 三ヶ畠千絵（斐太高）	男子個人戦 準優勝 谷口将之（高山西）

アーチェリー個人 谷口将之君 準優勝

（西高校）

平成11年度 財団法人高山市体育協会収支決算書

(単位：円)

【収入の部】

科 目	決 算 額	摘要
1.基本財産運用収入	1,533,159	基本財産定期預金利息
2.会 費 収 入	4,256,000	会員会費、賛助会費
3.事 業 収 入	1,116,300	新年総会会費、市民健康マラソン参加料
4.補 助 金 等 収 入	18,262,256	市補助金、市事業受託、県体協補助金、一般補助金、飛騨体協事務受託
5.雑 収 入	3,173	運用財産普通預金利息
6.特定預金取崩収入	1,500,000	退職給与引当金取崩
7.繰 越 金	38,614	
計	26,709,502	

【支出の部】

科 目	決 算 額	摘要
1.事 業 費	18,170,317	会議費、市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、都市体派遺費、県体派遺費、地区体派遺費、市民登山の会、委託費、強化費、助成金、表彰費、新年総会費、印刷製本費、奨励費
2.管 理 費	7,781,000	給料手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、負担金、支払手数料、交際費、使用料、雑費
3.特 定 預 金 支 出	681,632	退職給与引当金積立、六十周年特別積立
4.予 備 費	96,868	
計	26,580,583	

(収入合計) (支出合計) (次期繰越金)
26,709,502 - 26,580,583 = 128,919

平成12年度 財団法人高山市体育協会収支予算書

飛騨ビッグアリーナ完成に伴い、わが体育協会事務局も移転し飛騨ビッグアリーナの管理受託費が増額になっていますが、従来の事務員構成では、それらの業務に対応できないため、事務局職員も増員となった等の理由で、平成12年度からの予算規模が拡大しています。

一方、低迷する経済状況から、基本財産からの利息収入が依然として少なく、賛助会費の依存が極めて大あります。従って、賛助会員獲得への会員各位のご努力を切にお願い致します。

【収入の部】

科 目	決 算 額	摘要
1.基本財産運用収入	1,484,207	基本財産定期預金利息
2.会 費 収 入	3,900,000	会員会費、賛助会費収入
3.事 業 収 入	1,150,000	新年総会会費、市民健康マラソン参加料
4.補 助 金 等 収 入	29,590,000	市事業受託、県体協補助金、一般補助金、飛騨体協事務受託
5.寄 付 金 収 入	10,000	運用財産普通預金利息
6.雑 収 入	3,793	
7.繰 越 金	500,000	
計	36,638,000	

【支出の部】

科 目	決 算 額	摘要
1.事 業 費	26,527,000	給料手当、福利厚生費、会議費、市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、都市体派遺費、県体派遺費、地区体派遺費、市民登山の会、委託費、強化費、助成金表彰費、新年総会費、印刷製本費、奨励費
2.管 理 費	8,198,000	給料手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、負担金、支払手数料、交際費、使用料、雑費
3.特 定 預 金 支 出	680,000	退職給与引当金積立
4.予 備 費	1,233,000	
計	36,638,000	

インターハイ高山市会場のバスケットボール・アーチェリー競技共に順調に競技運営がなされ、関係者一同ホッとされていると思う。▲地元選手の活躍では、バスケットボール・アーチェリー競技共に頑張り、特に斐太高女子共に、頑張りました。斐太高男子、高山西男子は二回戦で昨年優勝校新潟女子共に、頑張りました。斐太高男子、高山西男子は二回戻で昨年優勝校新潟女子共に、頑張りました。斐太高男子、高山西男子は二回戻で昨年優勝校新潟女子共に、頑張りました。斐太高男子、高山西男子は二回戻で昨年優勝校新潟女子共